



2021. 12. 1

## 12月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園  
神戸YMCAちとせ幼稚園

コロナ禍にあって2度目の年末を迎えようとしております。毎日の感染者数に一喜一憂しながら過ごしていた日から、今では感染者数も大きく減少し、「今日の感染者数が何名だったのか？」も気にならないようになりました。新聞の広告やテレビのCMでも旅行に関するお知らせが増え、心が開放的になっている方もいるのではないのでしょうか。しかし、乾燥した寒い冬は、コロナウィルスだけでなく、インフルエンザも流行する季節です。引き続き、病気にならないよう自分の身体は自分で守る習慣を継続して欲しいと思います。

「12月はクリスマス！！」キリスト教に精通している人にかかわらず、全世界で「クリスマス」という日は周知されていますが、寒い冬の季節にあっては明るく、煌びやかで、プレゼントをもらえる楽しく素晴らしい日であると感じる方も多いのではないのでしょうか。

しかし、キリスト教でのクリスマスは、神様がたった一人の御子イエス様を私たちの世界に贈ってくださった日です。最も大切にすべき、愛すべき御子を私たちに授けてくれたにもかかわらず、その場所は暗く、寒い、馬小屋であったことに、そんな煌びやかなイメージとは違う、クリスマスの本当の意味を知ることができます。クリスマスは、華やかな場所で楽しみ祝う訳ではなく、最も小さくされている人にも平等にその喜びが与えられます。その喜びを分かち合う日としてクリスマスをお祝いするのは、神様が自ら示してくださったように、受ける喜びよりも与える喜びを知り、そのことを行う日でもあります。「何をプレゼントしようか？」「何をしたら喜んでくれるかな？」大切なことは、「何を」ではなく、「プレゼントしてあげたいな」「喜んで欲しいな」と思うその気持ちであり、そのような気持ちを抱いている1人1人の存在が、何よりのプレゼントであるような気がします。イエス様の誕生と合わせて、いま命が与えられている私たち一人一人の存在を感謝したいと思います。

幼稚園では、クリスマスの4週間前の礼拝からアドベント（降臨節・待降節）に入り、クリスマスを迎える心の準備を行っていきます。コロナウィルスに脅かされた1年でしたが、子どもたち、そしてご家族の皆様にとって、喜びを分かち合える温かいクリスマスを迎えられるようお祈りいたします。

### 【年主題】

『共に喜んで』～すべての歩みの中～

### 【年主題聖句】

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、  
一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

(コリント信徒への手紙Ⅰ 12章26節)

### 12月主題 「喜び合う」

聖句 「おめでとう、恵まれた方。」

(ルカによる福音書 1章28節)